

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大田区立こども発達センター わかばの家 親子通所

公表日 令和7年3月25日

利用児童数 28名

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	1		・人数に対してもう少し広いと良いと思います。 ・おもちゃや遊具についても整理されていて安全に配慮されている。 ・今まで見学した療育施設と比べても、1番広くてきれいです。	・引き続き、個々の子どもが安心して活動できるよう、環境設定を工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3			・トラブルがあったときなど、すぐに駆けつけてくれます！ ・たくさん先生方がいらっしゃるので安全に活動がおこなえている。 ・足りないと感じたことはありません。	・基準以上の職員配置がされている。グループ担当職員の他に非常勤で多種専門職（心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等）の配置があり、連携を重視したチームでの療育体制を取っている。 ・今後も職員の専門性を高める努力をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1			・早い段階からこどもにとってやることの習慣化が身についたと思う。 ・子どもにも大人にもわかり易く、参考になります。	・視覚的に見てわかりやすいように表示したり、生活に必要な活動の流れ、活動の場所、療育者の顔等、写真カードなどを用いながら、子どもの理解を促している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			・リラックスしている様子が見られるので心地よく過ごせています。 ・細かい所まで掃除するのは大変だと思いますが、子どもが思いつけないところを触ったり、入ったりするのでそれは少し心配です。	・生活空間は毎日療育終了後に、丁寧に掃除していることに加え、業者の定期清掃が入る等、清潔保持に努めている。 ・感染防止対策として、使用した玩具や遊具、ドアノブや手すり等のアルコール消毒、換気などをおこなっている。 引き続き、清潔で安全な環境を保てるよう努めていく。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	4	1		・いつも相談にのってくださいます！ ・先生方も子どもの苦手なことをよくわかっているので必要な支援が受けられています。 ・親でも気付かないような部分をご指摘いただき、毎回目からウロコです。	・引き続き、個々の子どもへの理解を深め、適切な支援が行えるように努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	2		1	・すごく合っていると思います。	・引き続き、専門職の意見を取り入れながら発達に合わせた支援を提供できるよう努めていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	4			・面談にしっかりと話させてもらえる上に、説明もわかりやすくしていただいています。 ・分析と支援計画を、子ども1人1人に対してされていて、本当にすごいです。	・引き続き、個々の子どもや家族に必要な支援を専門職の見立てもふまえ、具体的な個別支援計画を策定出来るよう努めていく。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3		1	・すごく細かく項目が設定されているのでできています。 ・わかりやすかったです。	・引き続き、ガイドラインに基づいて個々の子どもや家族に必要な支援を具体的に設定し、実行できるよう努めていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2		1	・計画どおりなされていると思います。 ・先生が子どもに接する姿を見てとても勉強になります。	・引き続き、個別支援計画に基づき、保護者との共通理解を形成し支援していくよう努めていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	1	1	・されていると思います。 ・程よく活動内容に変化があり、毎回楽しんでいます。	・引き続き、子ども達の発達の状態に合わせて、どの子どもにもわかりやすく、楽しめる活動内容や設定の仕方を工夫していく。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	5	6	・公園やたまに児童館 ・公園での活動や、行事のこどもまつりが他のこどももいる機会かと思うが、一緒に活動はできていない。 ・お祭りなどもやってくださり交流の機会がありました。	・地域の子どもと触れ合う機会として、公園遊びやこども祭りを設定した。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1			・説明してくだしました。 ・わかりやすかったです。	・契約時に、わかりやすく丁寧に説明していくことを心がけている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		1	・とてもわかりやすく計画を見ながら説明を受けました。 ・活動中などではなく、電話で説明をしていただけたので、落ち着いて聞くことができました。	・子どもの現状と保護者のニーズを把握し、支援計画を作成している。内容を保護者に説明し、同意を得て支援を進めている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2		2	・ペアレント・トレーニングはもっと重点的に勉強会を開催してほしいです。 ・調査票への記入を含め、事前に確認している ・日曜参観では写真もとっていただき、とても思い出に残っています。	・親子通所では、毎回親子で参加するプログラムであり療育自体を家族支援プログラムとして考えている。 ・小児神経科Drや、各専門職による勉強会、及び個別指導を通して保護者への支援を行っている。 ・日曜参観を実施し、日頃活動に参加できない家族が子どもの理解を深める場を設定している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24		1		・その都度、何かあったら連絡票での共有やお話を聞いてもらったりしています。 ・継続的に気にかけていただき、心の支えとなっています。	・引き続き、日々の様子や、連絡帳の情報などから、子どもの発達の状況や関わり方を保護者と確認しながら、共通理解の形成に努めていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			・アドバイスをいただいたり、話を聞いてもらうだけでもすごくありがたかったです。	・順次、個別面談を設定している。引き続き、必要に応じた支援ができるよう努めていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1			・みなさん優しく、いつも支えて頂いています！ ・子だけでなく親もたくさん支援してもらっています。 ・先生方みなさん優しく、話しやすいです。	・今後も、子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら、家族が安心して生活できるように一緒に考えていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	5	2	5	・項目にあるようなものはないが、母子分離の時間に保護者同士の交流はある。 ・母子分離での勉強会の時などの親御さんとの交流の機会を作っていたいています。 ・活動中は親同士の意見交換の時間が限られているので、そういった点で保護者会など開催されると嬉しいです。 ・きょうだいへの支援についてはよくわからないです。	・「日曜日参観」を実施し、家族が子どもの理解を深める場を設定した。また、保護者同志の交流の場として、ホール開放を開催した。ご意見頂いたことを参考に、懇談会など保護者の交流の場を設定できるように検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		2	・私は申し入れをしたことないのでわかりませんがやっていたかだと思います。 ・相談用の用紙が用意されているので、ありがたいです。 ・相談するとその場でしっかり話を聞いて下さりアドバイスをいただけます。後日改めて面談してくれる時もあり、とても感謝しています。	・保護者からの相談の申し入れは、内容によってグループの療育者、専門職、小児神経医師（診察）等、いろいろな職種が、できるだけ早く対応するように心掛けている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1			・配慮がなされていると思います。	・子どもには手本を示したり、視覚的情報を使って、分かりやすく伝えている。その上で、個々の気持ちを汲み取り代弁していく等、意思疎通を図るよう努めている。 ・保護者への情報伝達は、連絡帳や毎月「活動予定」の配布等、わかりやすい伝達方法を工夫している。 ・外国人保護者に対しては、面談や個別指導等、必要に応じて通訳を依頼して意思疎通ができるように努めた。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	1	8	・活動内容については周知されています。	・毎月「活動予定」「ほけんだより」を配布し、活動の予定や必要な連絡事項等の発信をしている。 ・自己評価の結果については、毎年、区のホームページ等で公開されているが、保護者にわかりやすい発信の仕方を工夫していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1			・されていると思います。	・引き続き、個人情報の取扱いは、注意を徹底していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	1	4	・マニュアルがこんなにたくさんあるのは知りませんでした。	・各種マニュアルは策定しているが、保護者への周知・説明が不十分な点は、改善に努めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2		1	・避難訓練も良い経験になっています。 ・子どもが落ちつきなく、本当の災害時のことを考えると不安なので、訓練が必要だと思います。	・避難訓練を定期的に実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		1	・安全についてはすごく考えられているように思います。	・大規模災害等を想定し、いざというときに現実的に対応出来るように、引き続き訓練の内容や実施の仕方を検討していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22		1	2	・経験がないのでわかりません。 ・まだ、発生したことがないのでわかりません。	・万が一怪我をされた場合は看護師が対応できる体制を整えている。引き続き、安全に通所できるように努めていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			・最初は部屋に入る事すら出来なかったのに、先生達の支援のおかげで楽しく過ごせる様になりました。 ・「ぼななぐるーぷ行きたい」といつも言っています！ ・嫌がることは今のところなく通えています。 ・楽しそうに通所しています。	・引き続き、子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもが安心感を得られる関わりや、環境を工夫していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1			・先生が大好きなので楽しんでいます。 ・楽しそうに通所しています。 ・毎回楽しみにしていて先生のことが大好きです。	・引き続き、楽しみに通っていただけるよう、子どもの興味・関心にあった活動を工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	3			・大変、満足です。本当にありがとうございます。 ・色々な人たちとの関りが本当に良い影響を与えているので通って良かったと思っています。 ・わかばの家に通えていなかったら、本当に困っていたと思います。 ・大変満足しています。	・引き続き、集団の間ではあるが、個々のニーズを大切にしながら支援をおこない、親子が満足できるような支援に努めていく。